

# かがんご

## 議会だより No.141

6月定例会	.....	P 2
議案質疑・研修報告	.....	P 3
委員会質疑	.....	P 4
議決結果・議会のうごき	.....	P 5
議会掲示板	.....	P 6
一般質問	.....	P 7～
かんだスcoop!・あとがき	.....	P 20



# 6月定例会

## 平成31年度苧田町一般会計補正予算等を慎重審議

一般会計補正予算等14件、意見書4件（6月11日～6月28日）

### 補正予算

平成31年度一般会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7353万9千円を追加し、補正後の総額は

129億8200万7千円。

### 条例制定

●苧田町森林環境譲与税金条例  
森林環境譲与税の用途を明確にするため基金

### 条例改正

を創設するもの。

●苧田町職員の勤務時間、休暇等に関する条例  
法律の一部改正に伴い、残業時間の上限を規制するため所要の改正を行うもの。

●苧田町災害弔慰金の支給等に関する条例  
法律の一部改正に伴い、保証人等の定めについて所要の改正を行うもの。

●苧田町介護保険条例  
消費税10%への引き上げに併せて、介護保険料の更なる軽減強化を行うため所要の改正を行うもの。

●苧田町都市公園条例

### その他の議案

法律の一部改正に伴い、「日本工業規格」が「日本産業規格」に改められたことにより、所要の改正を行うもの。

●苧田町火災予防条例  
法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。

●町道路線の認定  
道路法第8条第1項の規定に基づき、町道として認定するもの。

●工事請負契約の締結  
中央公民館屋上防水及び外壁改修工事を行うにあたり、(株)誠建設を工事請負人と定めるもの。

### 財産の取得

苧田町消防団第1分団の消防ポンプ自動車の更新を行うにあたり、(株)福岡トーハツ北九州営業所を契約の相手方と定めるもの。

### 専決処分

●条例の一部改正2件  
(苧田町税条例等・苧田町国民健康保険税条例)

法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。

●平成31年度苧田町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）  
平成30年度苧田町国民健康保険特別会計に3億2400万円の歳入不足が見込まれ、平

### 意見書

成31年度国民健康保険特別会計からの繰上充用が必要となつたため。

●学童保育指導員の資格と配置基準の堅持を求める意見書

●地方財政の充実・強化を求める意見書

●教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書

●安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書

### \*平成31年度補正予算

<b>【一般会計（第1号）】</b>	
歳出（増額補正の主なもの）	
・プレミアム付商品券販売業務等委託料	4,178万円
・集会所施設整備補助金	95万円
・介護保険特別会計繰出金	1,642万円
・幼児教育・保育無償化に係る事務費	509万円
・ため池の耐震調査業務委託料	950万円
・森林環境譲与税基金積立金	207万円
介護保険特別会計（第1号）	
・介護給付費準備基金積立金	26万円

## 議案質疑

平成31年度一般会計  
補正予算(第1号)

Q 幼児教育無償化は

幼稚園、保育園が対象であるが、無認可保育所の扱いは。

A 無認可保育所も無償の対象になる。

Q 深田大池に国の予算が付いた経緯は。

A 平成30年7月豪雨を受け、国が防災重点ため池の基準を見直した。深田大池は防災重点ため池として、町内一の貯水量があり、決壊時には、かなりの被害が想定されるため耐震調査を行う。

森林環境譲与税  
基金条例の制定

Q 税金は、一人一人が負担するものか。

A 住民税を支払っている全員が一律千円負担する。

専決処分(税条例  
等の一部改正)

Q 新車販売台数の何台が非課税になる見込みか。

A 軽自動車の新車購入台数が毎年百台前後あり、そのくらいは減税になる。

Q 消費税10%の増税分と個人住民税や軽自動車税の減税分で、影響はあるか。

A あまり影響はない。

専決処分(国民健康保  
険税条例の一部改正)

Q 賦課限度額を58万円から61万円に引き上げることにより、基礎課税額分で限度額を超える世帯は。

A 平成30年度で34世帯、今年度は、推計29世帯。

Q 引き上げによる税収増の見込みは。

A 増収見込みは百万円程度。

Q 応能割の減額の対象範囲を5割軽減、2割軽減に拡大した。世帯の見込みと軽減効果は。また、7割軽減世帯は対象外になっているが。

A 5割・2割軽減共に、40世帯前後、100万円弱を見込む。7割軽減は、基準額が基本額のみしかなく対象外。

## 苅田町議会議員課題研修会



議会会議室 (6月5日)

**研修内容** 町のポテンシャルを活かす  
～ソフトの力で地域を変える～

苅田町立図書館長の逆井健氏を講師に招き「町のポテンシャルを活かす～ソフトの力で地域を変える～」のテーマで講義を受けました。

地域を活性化する方策として、門司港コミュニティの活動事例より、SNSを活用した地域づくり活動やイベント等を実践してみたいと思っている人を広く募集し、事業を通してリーダーを輩出すること。

実行組織は、大きな組織ではなくアクティブなリーダーが数多くいることが大事であること。

SNSを通してリーダーや地域の様々な人材の交流、情報交換によって事業のノウハウを共有する事が大事であること。

ボランティアであるからこそ損や持ち出しをしないことが大切であり、財務方針をしっかり立てて取り組む必要があること。それがしっかりできていれば、収支0円でも事業は実践可能である。

さらに現在館長を務めている図書館では、「本のある広場」という施設の資産、図書館司書という人的資産、蔵書資料という物的資産を活用してイベント等を行い、費用を掛けずに来館者を増やす取組を行っています。



## 委員会質疑

### 総務常任委員会

▼平成31年度苅田町一般会計補正予算(第1号)

#### 【総務費】

Q 町全体の地区の集会所の数と集会所の無い地区は。

A のぞみヶ丘区、美波台区、白石3区を除く45ヶ所。

#### Q 集会所の修繕の予定、計画がわかって

いる区は他に  
あるか。

A 今回補正予算であげている1件のみ。

#### ▼財産の取得

Q CD-1型



新規購入するCD-1型

の特徴と利点は。

A CD-1型は、座席の下にエンジンがあり、団員の安全面を考慮して車内に6人の座席を設けている。

### 産業建設常任委員会

▼平成31年度苅田町一般会計補正予算(第1号)

#### 【農林水産業費】

Q 深田大池の調査・改修がずれたのは補助金の関係か。

A 国が防災重点ため池の基準を見直したため。

Q 今後も順次調査を行うのか。

A 7月以降に県から優先順位基準が示されるので、その基準に沿って行いたい。

#### Q 補助率はいくらか。

A 令和2年度までは100%。

▼苅田町森林環境譲与税基金条例の制定

Q 基金の用途や基準は。

A 間伐や人材育成、担い手の確保、木材

利用の促進、普及啓発等の森林整備及び促進に関する費用。

Q 条例第3条2項の有価証券とはどのような種類か、また必要性はあるのか。

A 今年度は有価証券へ代える予定はない。種類は国債や地方債の一部という事も考えられる。

▼苅田町都市公園条例の一部を改正する条例の制定

Q 名称は何故変えたのか。

A 近年の情報化産業等の発展により、不正競争防止法の一部が改正されたため。

#### ▼町道路線の認定

Q 尾倉の町道の件もあるが、検査、点検は実施したのか。

A 平成6年に用地買収を行い、町で工事及び検査を行った。

### 厚生文教常任委員会

▼平成31年度苅田町一般会計補正予算(第1号)

#### 【民生費】

Q 介護保険特別会計繰出金は、保険料が一番低い人の軽減分か。

A 第1段階、第2段階、第3段階の方の保険料の軽減分。

#### Q 軽減対象の人数は。

A 試算では第1段階が1925人、第2段階が675人、第3段階が623人。

▼苅田町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定

Q 災害援護資金の貸付実績は。

A 平成4年に13名、その後の利用者はいない。

Q 災害援護資金の回収率は。

A 約75%。

▼苅田町介護保険条例の一部を改正する条例の制定

Q もし消費税増税が再度延期になった場合はどうするのか。

A 国からの通知等に従い対応する。



# 令和元年第3回 苅田町議会定例会議決結果一覧表

議案番号	議案題名	村上智宣	高橋達之	屏正隆	岩谷潔	沖永義樹	白石学	友田敬而	榎谷忠明	常廣直行	三原茂	井上修	武内幸次郎	梶原弘子	松蔭日出美	小山信美	坂本議長	結果
議案第34号	平成31年度苅田町一般会計補正予算(第1号)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	可決
議案第35号	平成31年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	可決
議案第36号	苅田町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第37号	苅田町森林環境譲与税基金条例の制定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	可決
議案第38号	苅田町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	可決
議案第39号	苅田町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	可決
議案第40号	苅田町都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第41号	苅田町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第42号	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第43号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第44号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第45号	専決処分について(苅田町税条例等の一部を改正する条例の制定について)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	承認
議案第46号	専決処分について(苅田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	承認
議案第47号	専決処分について(平成31年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号))	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	承認
意見書第4号	学童保育指導員の資格と配置基準の堅持を求める意見書	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	-	否決
意見書第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	×	-	可決
意見書第6号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×	-	可決
意見書第7号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	-	可決

○-賛成、×-反対 ※議長は採決に加わらない。但し賛成、反対が同数の場合は議長判断による。

※可決された意見書は、関係機関に送付しました。

## 議会のうごき

4月	8日	議会広報特別委員会 (140号の企画・編集)	6月	5日	全員協議会(6月定例会提出予定議案について) 議員課題研修会(町のポテンシャルを活かす ~ソフトの力で地域を変える~) 議会広報特別委員会(141号の企画・編集)
	15日	議会広報特別委員会 (140号の企画・編集)		7日	議会運営委員会(6月定例会について)
5月	24日	厚生文教常任委員会 (第2次苅田町地域福祉計画・第4次 苅田町地域福祉活動計画について)	11日	議会開会	
	9日	総務常任委員会(専決処分について)	13日	議案質疑	
	10日	全員協議会 (かんだ港まつりの延期について)	19~21日	一般質問	
	17日	産業建設常任委員会 (都市計画マスタープランについて)	26日	付託委員会・議会広報特別委員会 (141号の企画・編集)	
				27日	議会広報特別委員会行政視察 (東プレ九州(株)苅田工場)
				28日	議会閉会

## インターネット中継実施中！

苅田町ホームページの「インターネット議会中継」をクリックすると、苅田町議会インターネット中継の画面が表示されますので、「ライブ中継」または「録画中継」をクリックし、ご希望の会議映像をご覧ください。

**スマートフォンやタブレットでも視聴できるようになりました。**

### パソコンの場合



**ココをクリック！**

**新しい画面が開きます**



### スマホ・タブレットの場合

#### QRコードを読み込む



**新しい画面が開きます**



**一般質問のページに、質問時の録画映像を視聴できるQRコードを、質問議員ごとに掲載しています。**

#### 注意事項

- ・録画中継は、ライブ中継終了後4日程度（土・日・休日その他の閉庁日を除く）でご覧になれます。
- ・映像をご覧になるには、Flash Player プラグイン のインストールが必要な場合があります。
- ・映像配信を多数の方が同時にご覧になった際に、映像が正しく表示されない場合があります。

#### 議会中継アクセス件数

6月末時点アクセス件数

ライブ中継 282件  
録画中継 657件

(平成31年4月からの累計)

**6月議会の傍聴者  
56名**

#### 9月定例会の予定

\*会期は  
8月27日(火) から  
9月11日(水) まで

\*一般質問は  
9月2日(月)  
9月3日(火)

\*開会時間は  
午前10時～午後5時

\*傍聴受付 庁舎6階にて

\*問合せ先 議会事務局  
☎093・434・1981



# 一般質問内容一覧

## 6月定例会において 13名の議員が質問



質問者氏名	質問要旨	掲載
坂本東二郎	1 都市計画と苅田町	8 ページ
岩谷 潔	1 第4次苅田町総合計画後期基本計画	9 ページ
井上 修	1 白川地域、片島地域の活性化について 2 JR小波瀬西工大前駅について 3 産業振興について	10 ページ
常廣直行	1 地域コミュニティの課題 2 水道事業から見る都市計画プラン	11 ページ
友田敬而	1 高齢者ドライバー対策について 2 苅田の宝、子供たちに夢と感動を 3 商店街のにぎわいづくり	12 ページ
高橋達之	1 医療的ケア児への施策 2 福祉避難所 3 受療権を守れ 4 難聴者・難聴児への施策	13 ページ
梶原弘子	1 商工振興費について 2 国民健康保険税 3 町内河川、ため池対策をきく 4 町内の地すべり崩壊対策をきく	14 ページ
小山信美	1 地域防災計画 2 RPA導入について 3 母子手帳アプリ	15 ページ
榎谷忠明	1 安心・安全な街づくりについて 2 土地区画整理事業について	16 ページ
屏 正隆	1 ひとづくりはまちづくり 2 安心安全なまちづくり 3 苅田町の未来	17 ページ
白石 学	1 犯罪被害者等支援について 2 第2次苅田町地域福祉計画、第4次苅田町地域福祉活動計画	18 ページ
武内幸次郎	1 諸課題への対応策について	19 ページ
松蔭日出美	1 社会教育施設について 2 白川地域の振興施策について	※注

※注 松蔭日出美議員の一般質問については、原稿掲載を辞退する申し出がありました。一般質問について掲載している内容は、会議録に基づき質問者自身が要約し広報委員会が校正したものです。なお、一般質問の録画映像は、苅田町議会ホームページでご覧いただけます。

**Q** 調整池、緑道を町名義に

**A** 現地を確認する



坂本東二郎（大樹会）



**Q** 町内の雨窪地区から新津地区まで、ほぼ区画整理事業が完

**A** 了し街路整備が完成している。  
**A** その通りだ。



旭ヶ丘団地内の調整池

**Q** 都市整備については、先人の先見力に敬意を表したいと思うが。

**A** 都市計画が整然と行われたことが町の発展の礎になったと思っている。

**Q** 民間開発も開発施行基準に沿って、町と協議を重ね、道路公園を設置し、ごみ置場を作り、大雨に対する洪水対策として調整池等を造成したが。

**A** 葛川旭ヶ丘団地には何度も行っているので理解しているつもり。

**Q** 公共目的として作られた用地の帰属について、町の方で受け入れできないか。

**A** 団地ごとの管理をお願いしている。

**Q** 住民サイドは、全て町に管理を依頼するのではなく、調整池や緑道について町に所有権を移転したいだけだが。

**A** 町が引き受けるわけにはいかない。

**Q** 区画整理事業と民間開発を並べて議論の場にしたのは、道路と緑道がどこが違うのか、現場、実情を見てもらいたいからだ。

**A** 現地の実情を確認する。

**提言** 住民は管理組織を立ち上げ、住民自治の観点から自分たちの足で歩いて行こうとの精神で努力している。行政の理解を願う。



旭ヶ丘団地内の緑道



## Q 企業主導型保育所とも連携を

**A** 利用調整がうまくできていない



岩谷 潔 (飛翔の会)



## 子どもを育む環境の充実

- Q** 放課後子ども広場と放課後児童クラブ(学童)の利用人数は。
- A** 広場659名、学童309名。
- Q** 広場と学童の違いは。
- A** 広場は遊びの場の提供。学童は指導員が働いている保護者の代わりに面倒を見る。
- Q** 保育士処遇改善事業では保育士1人当たりの補助額は。
- A** 基本部分3000

円で3分の2補助、

特別部分9000円で2分の1補助。保育園によって制度の利用状況は違う。

**Q** 町内保育園の保育士は足りているのか。

**A** 5園は不足。

**Q** 保育士の確保のための施策は。

**A** 本町単独ではないが、県全体として潜在保育士の登録を強く推し進めている。

**提言** 保育士の働き方

改革として、環境整備・短時間労働等賃金以外の部分も考え

ていつて欲しい。

## 子育て家庭への支援

- Q** 子育て支援サービス事業(一時保育)の内容は。
- A** 福祉会館内『あいあい』では、平日午前9時から午後4時まで、1時間550円で利用できる。平成30年度の利用者は943名。
- Q** 子育て支援センターの利用状況は。
- A** パンジープラザ・与原保育園・白川保育園

で行っており、サークル活動及び講座全体の利用人数は4967名。

## 子育てと就労の両立支援体制の充実

**Q** 待機児童数は。

**A** 7月時点2歳児の6名。保留通知を出したのは66名。

**Q** 保護者の育児休暇中に保育園に入所できるのか。

**A** 傾向として待機児童は増えていく。

**Q** 入所できなかった保護者はどうしているのか。

**A** 無認可の保育所等利用しているのでは。

**Q** 昨年度より認可保育所の利用調整を各保育園から担当課に移行したが。

**A** メリットは第1希望に入園できない場

合第2第3希望とスムーズに保育所を選ぶことができる。デメリットは業務の負担が大きい。

**Q** 本町にある企業主導型保育園の利用も待機児童解消に有効。地域枠は何人か。

**A** 定員60名に対して約半数が地域枠。現在地域枠で11名入所している。

## 子どもを守るための取組の推進

**Q** 児童虐待件数は。

**A** 対象世帯は平成28年度17世帯・29年度25世帯・30年度36世帯。

**Q** 虐待認識後の経過は。

**A** 緊急性が必要なケースは個別に会議を開く。平成30年度8名を緊急保護。

**Q** 保護された児童は。

**A** 児相が見守り、家庭に戻ればまた協議会で見守る。平成30年度は8名中4名が家庭に戻っている。

**Q** 苅田町子ども・子育て支援事業計画の見直しは。

**A** 11名の委員で会議を行っている。

**提言** 本町の発展には、子育て世代の保護者が魅力を感じる

子育て環境の整備、教育の充実が必要である。事業計画には、子育てしやすい町になる施策を盛り込んでいつて欲しい。



子育て支援センターの活動の様子

**Q** 白川地域に温泉を

**A** 回答できない



井上 修 (飛翔の会)



**白川・片島地域の活性化**

**Q** 今後町としてどのように取り組むのか。

**A** 農業政策の視点から新規就農者の受け入れや育成を促進し、



白川平野

担い手の確保を目指す。

**Q** 時代とともに、町、地域の環境が変化し、急激な人口減少の中、白川地域、片島地域の調整区域を外してほしい。

**A** 非常に難しい状況であるが社会情勢等の変化に対応するため、必要に応じて検討していきたい。

**Q** 農業公社の今後の行方は。

**A** 5年間は今のまま継続させていただく。

**JR小波瀬西工大前駅**

**Q** 当初予算1730万円は調査検討予算な

**Q** 地域の知恵とアイデア、村おこし、触れ合いの場と言うことで温泉調査を検討していただきたい。

**A** 白川についていろいろ考える意識、非常にわかっていいる。運営のあり方、見込み費用を考えると今すぐ考えてみると言う答えができない。

のか。

**A** 駅や周辺の整備状況を、複数の整備計画を作成し、優先すべき課題の整理に要する調査も行う。

**Q** 周辺整備事業、国の補助金はあったのか。

**A** 県の公共交通アクセス改善支援事業補助金200万円予定している。

**Q** 今後のスキーム(計画案)は。

**A** 早く整備計画案を固めたい。方針が決まり次第、JR九州や地元関係機関と合意形成をしていきたい。

**Q** バリアフリー事業は令和2年で補助金は終わると聞いているが。

**A** 令和2年で終了する予定となっている。

**Q** 東西自由通路、工

レーターのセット事業の補助金はあるのか。

**A** 自由通路については都市再生補助金が充てられる可能性がある。率は40%。

**産業振興**

**Q** 交通商工課で、産業振興、企業誘致に携わっている職員は何名いるのか。

**A** 交通商工課は9名。

企業立地担当は4名いる。

**Q** 4名で足りるのか。

**A** 新たな企業に対して開拓していく業務も必要、やっていくしかない。手が足りないようであれば増強を考えていかなければと思っている。

**Q** 中小企業を支援するコーディネート制度の導入は考えられないか。

**A** 少し時間をかけて検討してみたい。



JR 小波瀬西工大前駅



**Q** 地域コミュニティの再生と活性化を

**A** 重要性やメリットを積極的に伝える



常 廣 直 行 (飛翔の会)



**Q** 区が抱える問題を解決するために指導

が必要だ。

**A** 地域コミュニティが大事という呼びかけをいろんな場所で行っている。

**Q** 区への加入率が低下し、役員の高齢化や、なり手不足、就任期間の長期化など、課題が多い。

**A** 転入時にパンフレットの配布や、区長連合会の研修を通して、加入促進や担い手育成などに努め

ている。

**Q** 在留外国人への対応は重要な課題だ。

**A** 生活情報ガイドブックを配布。ボランティアによる日本語やしきたりを教えるサークル活動も行っている。

**自主防災組織と消防団の連携を**

**Q** 消防団と自主防災組織の法的根拠や権限に相違はあるが地域コミュニティを基

本とする防災体制が必要だ。

**A** 消防団にも呼びかけ、自主防災組織との訓練等を合同で行えるように検討する。

**Q** 消防団と自主防災組織がバランスよく機能すれば効果的な活動になるのでは。

**A** 自主防災組織の避難訓練などで消防がAEDや人工呼吸など指導を行っている。

**Q** 北九州市営バスに消防団募集のラッピングバスがある。本

町の団員募集は。

**A** 広報かんだやポスターの掲示等。大学生を通じて、若い力も勧誘したい。

**地域コミュニティ活性化事業は何を残したか**

**Q** 平成15年に始めた地域コミュニティ活性化支援事業は途中で休止となったが。

**A** 「独自性を持った社会を」との思いだったが、小学校区単位と大きく、具体的な形を示すことに欠けていた。

**提言** 地域コミュニティは、行政末端組織として極めて高い機能をもつ。地域経営組織の議論も進めようか。

**水道事業から見る都市計画プラン**

**Q** 昨年12月の水道法改定を受けて、経営戦略の策定・改定は進められたか。

**A** 上下水道とも来年度、経営戦略の策定を行う予定。

**Q** 水道事業は異動になつてすぐできるものではない。技術職の育成が大事だ。

**A** どの自治体も不足している。技術的に十分な研修ができていないのか疑問。若手にノウハウを教えている。

**Q** 水道管の法的耐用年数は40年、

長寿命化は負担の先延しだ。耐久性、耐震性の計画は。

**A** 耐用年数が百年というDX管で更新する。職員を北九州で勉強させアセットマネジメントの策定を行う。

**提言** 水道事業を切り口として町のコンパクト化を提言した。将来世代への負担を減らす重要なまちづくり政策だ。



二崎浄水場

### Q 子供たちに夢と感動を

**A** 夢や希望を描き  
挑戦できる子供の育成に努める



友田 敬而 (未 来)



### 高齢者ドライバー対策

**Q** 急増する高齢者ドライバーの事故への対応・対策について

**A** 本町では、平成30年4月から免許返納した70歳以上の人に、コミュニティバスの回数券5000円を交付している。平成30年8月から65歳以上で300万円以下の先進安全機能付きの新車を購入された方に3万円補助する事業を始めている。

**Q** 全国で悲惨な事故が多発しているが、本町の現状は。

**A** 交通事故、高齢者の事故両方とも、昨年に比べ、減少している。

**Q** 高齢者が加害者の件数は。

**A** 昨年度は52件発生している。

**Q** コミュニティバスの回数券5000円では、免許の自主返納を促すきっかけとしての取り組みは弱いと思うが。

**A** もう少しインパクトのある取り組みが必要と考える。

**Q** 私も病気を患い、当初移動手段に困った経験を持つ。現在のコミュニティバスでは、移動の手段として、大変使いづらい。コミュニティバスをもっと便利に見直す計画は。

**A** 現在のところ、コミュニティバスの見直し計画はない。

### 荻田の宝、子供たちに夢と感動を

**Q** 本町の宝である、子供たちに夢と感動をあたえようと考えているか。

**A** 学校、家庭、地域と連携した取り組みを進め、自らの夢や、希望を描き挑戦できる子供の育成に努めている。

**Q** 来年の東京オリンピックに、本町の子供たちを修学旅行として、派遣し、貴重な体験を与え、より一層の成長を期待する事業を行わないか。

**A** 子供たちに夢と感動を与えることは多々あると考える。しかし、修学旅行は、各学校が決定するので、すぐにオリンピックを修学旅行には

難しい。

**Q** 費用は、ふるさと納税で賄えるのでは。

**A** ふるさと納税した人々の意向をくんで検討したい。



コミュニティバス (ノンステップ)



**Q** 医療的ケア児が利用できる事業所は

**A** 児童発達支援、放課後等デイサービス、ショートステイ



高橋 達之 (日本共産党)



**Q** 医療的ケア児の人数は。

**A** 数名いるが全体数は把握できていない。

**Q** 全ての子どもが保育を受けられ、保護者が働くことを選択できる町だと思えるか。

**A** 保育園は待機児童が発生していて、医療的ケア児の対応までは進んでいない。

**Q** 保護者が付き添えば保育園に通えるか。

**A** 就労していないことになると問題がある。

**Q** 地域の小中学校へ

通うことは可能か。

**A** 状態や将来的な展望を踏まえて、一人ひとりに適した教育環境を選択することが重要。

**Q** どうして受け入れる方向に進まないのか。

**A** 保育士、医師、看護師などの有資格者不足。

**福祉避難所**

**Q** 本町の福祉避難所の数と受け入れ可能人数は。

数は。

**A** 尾倉の総合福祉会館1ヶ所で35名受け入れ可能。

**Q** 要支援者は505名いる。

**A** 一般避難所の福祉スペースで対応する。

**Q** 妊産婦、乳児専用避難所を設置する考えは。

**A** 今後検討する。

**Q** スタッフの体制は。

**A** 支援班30名、医療班22名で対応する。

**Q** 一般の避難者が殺到してきたらどうするかの。

るのか。

**A** 総合福祉会館の和室を福祉避難所として開設し、一般の方は体育館に移動してもらおう。

**Q** 要支援者は福祉避難所に直接避難できるか。

**A** 人的、物的に限りがあり、直接避難できない。

**無料低額診療制度**

**Q** 制度の必要性は。

**A** 生活困窮者支援制度として必要である。

**Q** 薬代に公的助成を。

**A** 他の自治体の取り組みを勉強する。

**難聴者（児）支援**

**Q** 加齢性難聴者、難聴児の補聴器購入に公的助成を。

**A** 高齢者への助成制度はない。子どもへの補助は県の制度を活用する。

**Q** 補聴器購入は医療費控除の対象となるのか。

**A** 控除に該当する。

**Q** ヒアリンググループの設置状況は。

**A** 本町には設置された施設はない。

**【お詫びと訂正】**

議会だより140号高橋議員の一般質問の中で、「捕捉率」の注釈に誤りがありました。正しくは「生活保護を受けられる人中、実際に受けている人の割合」でした。



総合福祉会館

### Q 企業立地振興費の効果は

A 人口は10年間で3437人増加した



梶原弘子 (日本共産党)



Q 「企業立地雇用促進奨励金」を出した総額は。

A 過去10年間、17社へ8億1390万2千円である。

Q 奨励金によって人口増につながったと言えるか。

A 確実につながった。

Q 大企業だけでなく、町内中小業者にも制度の活用を。

A 課として様々な企業支援のメニューを持っている。

### 国保問題

Q 県広域化にして良かったことはなにか。

A 必要な医療費は県から交付され、急激な医療費増加にも対応できること。

Q 町民の健康対策は。

A 生活習慣病予防や重症化予防として、病气要因の高い人に、受診の勧めや医療機関と連携した保健指導を行っている。

Q 県広域化にして値上がりが続いている原因は。

A 県への納付金に必要な標準率が示されたため。

Q 国保加入者数は。

A 4月1日で4512世帯、30年度滞納世帯226世帯、資格証明書世帯93世帯である。

Q 滞納処分として差し押え処分があるが、年々増えている原因は。

A 滞納世帯が4000

件ある、滞納相談が行き届けば、もう少し解消できるのではないかと思う。

Q 収入の無い子ども達も保険料支払い人数に入れる「均等割」制度を無くせないか。

A 国の法律で決まっております、30%を均等割で賄っている。これを無くすと厳しい。

Q 全国首長会では国に対して「1兆円の繰入を」と要望しているが。

A 公的負担をもっと拡充してと、自治体側からもやっている。

### ため池、地滑り対策

Q 町内のため池は47ヶ所と聞いている、補正予算でため池堤防の予算が出ているが、ヘドロで埋まっ

て工事をやり直した事がある、大丈夫か。

A 耐震性能の調査をした上での工事と、浚渫工事なども補助の対象になればやっていきたい。

### 高台の住宅地問題

Q 急傾斜地域住民の不安等丁寧に対処してほしい。

A 現在急傾斜地崩壊対策事業を県が実施している。



本町の工場群



**Q** 改定後の地域防災計画

**A** 全面的な見直しで減災へ



小山 信美 (公明党)



- Q** ハザードマップの配布時期は。
- A** 今年度中。各家庭や企業に配布。
- Q** 町内の重点ため池の数は。
- A** 防災重点ため池が36。
- Q** 聴覚障がい者や外国人の情報提供の取り組みは。
- A** 文字情報による専用メール。4カ国語の生活情報ガイドブックやスマホ向け多言語音声翻訳システムを紹介。

- Q** メール119番の登録人数と利用は。
- A** 24名。利用はない。
- Q** ネット119番緊急通報システムの運用開始は。
- A** 令和2年度に購入予定。
- Q** 液体ミルクの備蓄は。
- A** 導入を検討。勉強したい。
- Q** 食物アレルギーの対応は。
- A** 白米20食分。
- Q** 自主避難をした時のペット対策は。

- A** 決まった場所に分けて避難する。
- Q** 防災士について、町独自の講習会とは。
- A** 自主防災会の研修等で防災士資格者が研修する。
- Q** 荒天時も受信できる防災ラジオについては。
- A** 非常に有効な手段だが、現在は防災無線としている。
- RPA (※) 導入**
- Q** 限られた財源や人

員体制の中、新しい技術を活用し、労働生産性をさらに向上させる必要があるのでは。

**A** 福岡県や他自治体との動向を見守り検討を行う。

**提言** 茨城県つくば市

は導入後約8割の削減効果。職場環境の整備に取り組むことが町民サービスへの向上になる。

**母子手帳アプリ**

**Q** 母子手帳アプリ導入について、その後の経過は。

**A** 今年度、新たに県内2つの自治体が導入予定である。

**Q** 例えば、導入する経費はいくらかかるのか。

**A** 月に約5万円。



改定された 荻田町地域防災計画

**Q** 子育て世代に便利で使いやすい。必要性は。

**A** 比較的效果の割には安価。導入に向けて検討する方向。

※RPA (ロボティック・プロセス・オー

トメーション)とは、人間が手作業で行っていた業務などを認知技術を取り入れたロボットに代行してもらうことにより、業務の大部分における自動化や効率化を図る取り組み。

## Q 児童・生徒の通学路と防犯灯は

### A 安心・安全な町づくりを目指す



梶谷 忠明 (未 来)



**Q** 登下校時の安全対策はどうなっているか。危険な場所などのチェックは。

**A** 小学校対象だが、町内6校で、登下校防犯プランでカバーしている。

**Q** 南原、与原小学校に於いてはゾーン30が出来ているが、苅田、馬場小学校についてはどうなっているのか。

**A** ゾーン30をかけるには警察協議が必要で、現在2車線道路

の部分が40キロとなっており、警察の許可が取れない。

**Q** 苅田小学校については、東側が2車線道路になっているが回りは出来ないのか。

**A** ゾーン30はある程度エリアが必要で有り、警察の方からゾーン30には適さないと言われ協議が終わった。

**Q** 町が委嘱した交通指導員は何人いるのか。

**A** 13名いて交通安全

に当たっている。

**Q** 不審者対策はどうなっているか。

**A** 最初に学校の方へ集約され、教育委員会、警察へ連絡しパトロール等につなげている。

**Q** 不審者情報は昨年度何件あったか。

**A** 苅田町内で40件の不審者情報が上がっている。

**Q** 防犯灯について、のぞみヶ丘と区画整理事業の1工区について早期設置が出来

ないか。

**A** のぞみヶ丘については、現在設置場所について協議中である。

**Q** 町の総合計画で31年から33年までの3ケ年で全部LEDにするとなっているが、早くできないか。

**A** 現在実施中である。

**Q** 防犯灯は公共性の高いインフラだと思う。蛍光灯からLEDに替え電気代も安くなり、全額町が負担出来ないか。

**A** 区の防犯灯が57.4%、町の防犯灯が33%LED化になっている。電気代の全額負担については議論している。

## 与原区画整理事業

**Q** 埋立の土を国から頂くとの話になっていたが、いつからのどのくらいの量なのか。

**A** 大分河川国道事務所と覚書を締結し、今年度から令和4年まで。今年度は4万立米の予定。

**Q** 4万立米と言うと、相当の数量で土砂搬入の場合、周辺の住民の方に大変な影響が出ると思うが。

**A** 住宅が地区内に有るので、その住宅から一定の距離を置き、盛った土に対して散水を行い砂ほこりの舞わない様にする。

**Q** 周辺住民の生活に支障が出たら困る、その時の対応はどことがするのか。

**A** 町の土地区画整理課に連絡頂きたい。



南原小学校横のゾーン30





善立寺保育園園外活動の様子

### Q 子ども議会への開催を

### A 近隣の事例もあるので前向きに検討する



屏 正隆 (大樹会)



### 幼児教育無償化

Q 本町の財源は、どうなるのか。

A 来年度以降、町の負担は増加すると見込んでいます。

Q 3歳から5歳が無償化になり、0歳か

ら2歳は今まで通りで間違いないか。

A 3歳から5歳の未就学児が無償化の対象。

Q 保育園は保育料の中に給食費が含まれていますが、無償化により別途、園が保護者から徴収するときいたが。

A 通園バス代等々と同じような考えになる。

Q 園の負担が増えるが、町として補助は考えていないのか。

A 役場担当と保育園連盟と協議を重ねている最中である。

### 医療費診療、妊婦加算

Q 現在凍結中で4月から復活すると聞いているが、本町で妊婦の医療費を負担してあげることができないのか。

A 総合的に検討しながら子育ての分野については充実を考えていきたい。

Q 全国で、妊婦対

して医療費を補助している地域はあるのか。

A 岩手・茨城・栃木・富山県が県全体で助成に取り組んでいる。

提言 本町が西日本初で取り組み、子育てに優しい町を目指していくべきだ。

### 高齢者の詐欺被害

Q 本町で事件は。

A 平成29年度に1件あった。行橋署管内では平成30年に6件140万円の被害があった。

Q 電話機に録音機を設置する事で被害ゼロになった自治体がある。本町でも用意してレンタルをしてみたい。

A これから考えたい。

### 交差点の安全対策

Q 大津園児死傷事故があり本町の取り組みは。

A 各園に散歩コースの調査依頼を出した結果、交差点147ヶ所で危険と思われる点が28ヶ所の報告を受け、関係部署と協議中。

Q 苅田駅前を園児が散歩しているのを見かけるが、交差点に車ガードを設置した方がよいのでは。

A 現場を見て考えている。

Q 日産自動車近くの交差点の所を大規模に造成をしているが、商業施設ができるのか。

### 商業施設

A 開発許可申請によると店舗及び物流倉庫が建設予定となっている。

いきたい。

Q 苅田駅前の信号を歩車分離にできないか。

A 公安委員会に申し出たいと思う。

その電話・・・  
ちょっと待った!

二セ電話詐欺かも!?

電話でお金はすべて詐欺!  
すぐに相談・110番!

二セ電話詐欺注意喚起チラシ

**Q** 犯罪被害者等支援条例は

**A** 条例の制定は慎重に検討



白石 学 (公明党)



**Q** 被害者がつくる条例研究会が、4年前に犯罪被害者等基本条例第三版を配布したが。

**A** 県から、第三版をもらった。

**Q** 犯罪被害者の件は、非常に深刻。相談や情報の提供についての窓口はあるのか。

**A** 総合窓口として、地域福祉課が担当。

**Q** 窓口はあるが、多くは機能していない。誰が被害者になるかわからない。条例化

は。

**A** 非常に重要な案件だが、具体的な対応は県と連携を取り考

える。

**Q** 虐待やDVでの対応は課が違う。縦割りではなく、丸ごと

の対応が必要では。

**A** 虐待やDVへの個別対応の仕組みは出来ている。犯罪被害者全体については、今後考える。

**Q** 痛ましい事件が多い。起きてからでは後手になる。早めの対応が必要では。

**A** 県の条例は、具体的な施策が細部では決まっていない。本町が協力する責務を

犯罪被害者支援条例を考えるシンポジウム

考えていく。

**Q** 職員の視点ではなく、被害者は一日でも早くという切実な思いがあるが。

**A** 具体的な相談が無いのが実態。県の条例を参考に対応を考える。

**地域福祉計画**

**Q** 前回の計画では、住民相互の取り組みが見えない。今回は

共助が特徴というが。

**A** 課題の検証ができなかった。今回は、目標を明確にし、課題解決のため住民が話し合い策定した。

**Q** 地区福祉計画を、6小学校区単位にした理由は。

**A** 国が、中学校区か小学校区単位を示した。本町は中学校区は大きいので、小学校区にした。



第2次苅田町地域福祉計画・第4次苅田町地域福祉活動計画





山口ダム

**Q** 本町では水源確保は必要だ

**A** 水道事業広域化で検討

**Q** 安定供給に向けての水源確保は。

**A** 平成22年プロジェクトチームで検討したが結論は出てない。



武内幸次郎 (未 来)



**Q** 山口ダムは80万t、井ノ口池は20万tだが堆積調査は行っているのか。

**A** 数十年前から行っていない。

**Q** 主要の河川を持たない町だ。堆積土砂があれば、有効貯水量を満たさない。今後の対応は。

**A** 浚渫の必要性はある。時期を見て検討する。

**Q** 山口ダムの上を県道整備中だ。県に要望し、道路護岸を強

固にすれば拡張も可能で貯水量も増加するのでは。

**A** 検討してみたい。

**汚水処理計画と雨水対策**

**Q** 公共下水道は莫大な整備費用と維持管理に恒久的公費繰り入れが必要。良策とは言えないが認識は。

**A** 当面は下水道整備を行う。

探算ラインは1ヘクタールに100人だと

言われている。全国の自治体でいくつあるのか。

**A** 把握していない。

**提言** 全国約1700の内35自治体のみだ。公共下水道と浄化槽を対比すれば建設費は6倍だ。

**Q** 今後の人口動向や空き家の増加等を考え、検討すべきでは。

**A** どこかで方針転換が必要ではと感じ、検討を始めている。

**雨水対策**

**Q** ポンプ場の設置機能は浸水対策だ。幹線道路が度々浸水し通行不能になる。優先度の高い施策では。

**A** 必要性は感じているが多額の前算が必要だ。全体計画を見

ながら優先順位をつけたい。

**提言** 企業進出や定住化促進を図る上で、早急な対応が必要だ。

**財源確保の見直し**

**Q** 将来の財政需要を考えると、新たな財源を見出さなければ山積課題の克服はない。企業誘致と定住化の現状と見通しは。

**A** 数社の操業が始ま

れば税収も期待できる。定住化は企業から従業員の定住地確保の声も聴くが現況は厳しい。

**Q** 企業の競争力、成長力を高めるため法人実効税率が引き下げられたが、現況でどの程度の減収か。

**A** 机上では年2億円程度だ。

**提言** 将来を見据え、しっかり優先順位を付けるべきだ。



井ノ口池



議会だより かんだ  
令和元年7月25日発行  
(141号)

編集・議会広報特別委員会  
発行責任者・坂本東二郎

〒800-0392 福岡県苅田町富久町1-19-1  
☎093-434-1981 FAX093-434-2099

# かんだスクープ!

vol.15 東プレ九州(株)苅田工場に聞く

人材を育てる

新たな企業

今回は、新浜町に新規に操業した東プレ九州(株)取材しました。

敷地面積約2万6000㎡、延床面積約1万5000㎡で従業員は現在71名で内37名が現地採用者で今年1月に稼動しました。

主には自動車部品をつくるプレス工場ですが、工場内は最新の設備を導入、海が見えるカフェテリアなど従業員の働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

会社は、神奈川県に本社を置く東プレの100%出資の



記念碑として設置された親会社創業当初の設備

子会社で、東プレ九州としての本社は久留米市にあります。

現在、アメリカ、メキシコ、中国、タイなどグローバル展開しており、技術者の人材育成の為、技術センターを久留米工場に建設し対応しているとのことでした。

本町の印象を湯川社長にお尋ねすると、「苅田町は製造業として働きやすい町であり、取引先への納品の便が良く、競争力強化がはかれる。是非、苅田町の方々と一緒になって働きたい」と心強いお言葉を頂きました。

## あとがき

平成が終わり令和時代がスタートしました。

異例の10連休もあり、世の中はまるで年末年始のようでした。

令和という時代が、どんな時代になるのか楽しみです。古き良き時代の考え方を生かしつつ、新たな考えが誕生することでしょう。

これからは、地域が自らアイデアをだし、自助、共助を中心にまちづくりに取り組まなくてはならないと考えます。我々議員もみなさんと一緒に未来の苅田町を創っていきたくと考えます。

屏 正隆

## 表紙の写真



善立寺保育園の七夕の風景



写真左より井上委員、梶原委員、白石委員、小山委員長、友田副委員長、榎谷委員、屏委員、岩谷委員

議会広報特別委員会  
委員長 小山信美  
副委員長 友田敬而  
委員 梶原弘子  
委員 井上明修  
委員 榎谷忠学  
委員 白石石  
委員 岩谷正隆  
委員 屏正隆